

情報科学演習
第8回
リンク, 番号つきリスト, 実体参照

目次

1	本日の目標	1
2	実習 1: 番号つきリストと実体参照	1
2.1	実体参照	1
3	実習 2: リンクを張る	2
3.1	フォルダ内のリンク	2
3.2	フォルダの外へのリンク	3
3.3	他のサイトへのリンク	3
4	残った時間の課題	4
5	今後の予定	4
6	recipe.html の内容	5

1 本日の目標

- 番号つきリストのタグを知る.
- 実体参照を知る.
- リンクの張り方を知る.

2 実習 1: 番号つきリストと実体参照

番号つきリスト (ordered list) ですから, タグは, です. まず雛型を作成します.

- Emacs を起動します.
- C-x C-f でファイル名を, 「WWW/recipe.html」と指定します.
- 次の内容を入力します.

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=ISO-2022-JP">
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="recipe.css">
<title> HTML の書き方 </title>
</head>

<body>
<h1> HTML の書き方 </h1>

<ol>

</ol>
</body>
</html>
```

- C-x C-s で保存します.

できたら, フォルダ「WWW」の「recipe.html」をダブルクリックして, タイトルバーを確認します. リストの各項目は, とで囲みます. ここでは, HTML の書き方を記述して行きます.

2.1 実体参照

HTML 文書の中に不等号<を素直に書く事はできません. タグの始まりを表す文字だからです. (このように本来の意味と違う特別な意味を持つ文字をメタ文字 (meta character) と言います. 2 年次の計算機概論 I でより詳しく解説します.) HTML では, これらを文字を表示するには「実体参照

(Character entity reference)」と言うのを uses. 例えば< は<lt; と書きます. (lt = less than) このように書いておくと, ブラウザがこれを不等号< であると判断して, そのように表示します.

実際に書いてみます. 今作った「recipe.html」ののすぐ下の行に次のように記述します.

```
<li>
```

1 行目に <lt;!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN"> を書きます

```
</li>
```

入力したら, これを保存して, Firefox で見てみて下さい. 文書の中の <lt; と> は, それぞれ, < , > という表示に変わっている筈です. 主な実体参照文字の一覧は, 参考書 313 ページにあります.

3 実習 2: リンクを張る

Hyper Text Markup Language の Hyper Text の部分は, 他の文書や文書内の別の場所へのジャンプを記述できる事によって, 実現されます. このことを, 「リンクを張る」と言います. HTML ではアンカー要素がそれを実現します. アンカー要素は次の形になります. (a は anchor の a)

```
<a href="リンク先"> リンク先の名前 </a>
```

3.1 フォルダ内のリンク

同じ場所 (コンピュータ) にある場所 (このように 1 つのコンピュータ内にあるようなものを, ローカルなものと言います) へのリンクは, そのリンク先へのパス名を指定します.

パス名とは, そのファイルにたどり着くまでの道筋で, 同じフォルダだと単にファイル名を書くだけです. サブフォルダの場合は, 「サブフォルダ名/ファイル名」の様にスラッシュ / で区切ります. これに対し, フォルダの外は 「../」とピリオド 2 つを使います.

実際に, 書いてみます.

- 今まで使っていた Emacs はそのままにして, 新たに Emacs を起動する.(別のデスクトップに移った方がいいかも知れません.)
- C-x C-f で, 「WWW/index.html」として, このファイルを読み込む.
- プロフィールの番号無しリストの最後のタグ の下に, 次の内容を入力する.

```
<h2> 目次 </h2>
```

```
<ol>
```

```
<li>
```

```
  <a href="schedule.html"> 私の時間割</a>
```

```
</li>
```

```
<li>
```

```
  <a href="fellows/fellows.html"> 基礎ゼミメンバーの紹介 </a>
```

```
</li>
```

```
</ol>
```

- C-x C-s で保存する.

終わったら、「WWW」内の「index.html」をダブルクリックして、内容を見ます。リンクの部分が青く表示されていると思います。リンクの部分をクリックして、リンク先に飛ぶかどうかを確かめて下さい。うまく飛ばない人は、ファイル名やフォルダ名の指定が間違っています。

3.2 フォルダの外へのリンク

「fellows.html」から、「index.html」へのリンクを張ります。fellows.html はフォルダ「fellows」の中にあり、index.html は、fellows.html から見るとフォルダの外にあります。上で述べたようにこの場合は、「../index.html」で参照します。

次の操作をして下さい。

- Emacs で C-x C-f を押し、mini buffer の内容が ~/WWW/fellows/fellows.html となるようにして、fellows.html を開く。
- fellows.html の</body>タグの上の行に次の 2 行を加える。

```
</hr>  
<a href="../index.html"> Index </a>
```

- C-x C-s で保存する。

終わったら、fellows.html をダブルクリックして firefox で見て下さい。一番下の「Index」をクリックして、トップページに飛べるか確かめて下さい。うまく飛ばない場合は、ファイル名などを確認して、fellows.html を修正して下さい。

3.3 他のサイトへのリンク

他のサイトへのリンクには、href でアクセスする方法も指定します。ここでは http(Hyper Text Transfer Protocol) しか使いませんが、ftp(File Transfer Protocol) も比較的使われます。

実際に書いてみます。次の操作をして下さい。

- 今使っている Emacs で C-x C-f を押し、mini buffer の内容が ~/WWW/index.html となるようにして、index.html を開く。
- index.html の</body>タグの上の行に次の 2 行を加える。

```
<h2> リンク </h2>  
<a href="http://www.asahi.com/"> 朝日新聞 </a>
```

- C-x C-s で保存する。

終わったら、index.html をダブルクリックして firefox で見て下さい。一番下の「朝日新聞」をクリックして、飛べるか確かめて下さい。うまく飛ばない場合は、URI 等を確認して、index.html を修正して下さい。

4 残った時間の課題

残った時間で、次の内容をできるだけたくさんやって下さい。

1. 「recipe.html」をこのプリントの最後のページの様に完成する (更にスタイルシートも書く)。
2. 「index.html」から、この授業で作成した「glossary.html」、「recipe.html」へのリンクを張る。
3. 「schedule.html」、「glossary.html」、「recipe.html」から「index.html」へのリンクを張る。
4. 「index.html」の外部へのリンクに、琉球大学 (www.u-ryukyu.ac.jp), 琉球大学情報処理センター (www.cc.u-ryukyu.ac.jp), 琉球大学附属図書館 (www.lib.u-ryukyu.ac.jp) を付け加える。その際、これらのリンクリストは、「番号無しリスト」を利用する。
5. 基礎ゼミメンバーの紹介で、各人の顔写真をクリックするとその人のページに飛ぶようにする。
6. 時間割ページの各授業に対して、その授業のページへのリンクを張る。
(情報科学演習だったら <http://www.math.u-ryukyu.ac.jp/~suga/joho/2008A>)
7. バックアップを取る。

5 今後の予定

今回で、HTML の話は 1 段落します。ただし、HTML が終わったわけではなく、皆さんには講義で述べた事を元に、オリジナルなページを作成して頂きます。そのための時間は、学期終了の直前に、1,2 回確保します。それまでにオリジナルページのための取材をしておいて下さい。講義の単位は、これまで作ってきた Web ページと、オリジナルページの内容で評価します。評価基準は次です。

不可と判定する項目 そもそも Web ページが全く見えない場合は不可です。更に、以下の事が守られていないページにはこの講義の単位を不可と判定します。

- 自分以外の個人情報は大学外からは見えないように、適切にアクセス制限をかけている事
- 公序良俗に反する内容が書かれていないこと
- 著作権を侵害するような内容が書かれていないこと

減点項目 以下の指示が守られていない場合は減点の対象になります。

- 以下のすべてのページが琉球大学内からブラウザーを使って読めること
 - － index.html
 - － schedule.html
 - － fellows/fellows.html
 - － recipe.html
 - － glossary.html
 - － オリジナルページ
- HTML 4.01 で許容されているタグを使っている。(規格外のタグはだめ)
- すべてのページに適切にリンクが張られていること

- Window に表示されるタイトルが内容と一致していること

得点項目 以下のような web ページは加点の対象になります。

- web が見やすく作られている
- 内容が面白く正確な情報が記述してある
- 写真や絵を多用せず、文章が中心である
- リンクが適切に使用されている

HTML 文法チェックしてくれるサイト: <http://openlab.ring.gr.jp/k16/htmlint/htmlint.html>

6 recipe.html の内容

(印刷の都合で改行があるが、この通りにつける必要はなく、適当につける.)

1. 1 行目に `<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">` を書きます.
2. 次に`<html>`, `<head>`, `<body>`などの基本タグの 開始タグと終タグを書きます.
`<html>` タグには言語指定もします.
3. タグ`<head>`と `</head>`の間に次の文を書きます.
`<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=ISO-2022-JP">`
`charset` の値には、ページに対して適切な文字集合を指定するようにします.
4. 今書いた行のすぐ下にタイトルを書きます.
`<title>このページのタイトル </title>`
5. タグ`<body>`と `</body>`の間に次のように見出し文を書きます.
`<h1>`
 見出し文
`</h1>`
6. 水平線のタグは`<hr>`です.
7. 写真や画像の読み込みは, ``です. このとき,
 画像の幅 `width` と高さ `height` も指定します.
8. 段落はタグ, `<p>`, `</p>`で挟みます.
9. 明示的な改行タグは`<br>`です. 通常はブラウザが適宜改行するので,
 特別な場合以外は使いません.
10. 表はタグ, `<table>`, `</table>`で挟み, 表の各行は, `<tr>`, `</tr>` で挟みます.
 行や列の見出しは, `<th>`, `</th>`で挟み, 表の中の各項目は, `<td>`, `</td>`で挟みます.
11. `<dl>`, `</dl>` は定義型リストのタグで, `<dt>`, `</dt>` が定義されるもの,
`<dd>`, `</dd>` がその記述です.
12. `<ol>`, `</ol>` は, 番号つきリストのタグです. 各項目は, `<li>`, `</li>` で挟みます.
13. `<ul>`, `</ul>` は, 番号無しリストのタグです. 各項目は, `<li>`, `</li>` で挟みます.
14. 不等号 `<` 等の文字は, 実体参照を用いて, `<` のように書きます.
15. リンクはタグ, `<a href="リンク先">` 文字列 `</a>`とします.